

肝機能の
数値が高い

と言われて



献血をお願いできなかった皆様へ。

H28年4月より、献血する際の肝機能の値
「ALT (GPT)」の基準を緩和しました。

ALTとは主に肝臓で働く酵素の一種で、脂肪肝などの肝機能障害があると数値が上昇します。数値が61IU以上になるとC型肝炎などのウイルス感染が疑われるため、血液は廃棄の対象となっていました。また、以前の数値が61IU以上の方の献血はご遠慮いただいていたいました。

しかし、現在では肝炎ウイルスの感染を検査できるようになったため、感染症に感染していなければALTが高い血液を輸血しても被害が起きることは考えにくいとして、廃棄基準を101IU以上に引き上げました。101IUという数値は現在、肝機能障害を疑う目安として献血者に医療機関の受診を勧める値です。

ぜひ今後も献血へのご協力を
どうぞよろしく願いいたします。

